

## 図書館 I C 化事業について

図書館の図書・所蔵資料(約160,000点)に I C タグを設置するとともに、セルフ貸出・返却機を導入することで、受付カウンターでの混雑緩和や接触機会の削減など、新型コロナウイルス感染症対策を講じるものです。

併せて、蔵書管理の効率化・適正化、利用者の待ち時間の短縮及びカウンター業務の削減に伴うレファレンスなど他業務の充実によるサービス向上のほか、I C ゲート導入による図書などの盗難防止を図ります。

### 1 事業内容

#### (1) I C タグ設置

※ I C タグ…現在使用しているバーコードとは異なり、複数の情報を広範囲から一括して取り込むことができる情報媒体

#### (2) I C 機器導入

- ① サーバ関連機器
- ② I C タグリーダライタ…図書館職員が使用する貸出・返却機器
- ③ セルフ貸出・返却機…利用者自身が操作して、容易に貸出・返却できる機器
- ④ I C ゲート…貸出未処理の図書などを検知する機器(図書館入口に設置)
- ⑤ 蔵書点検用機器…書架に置いたままで図書などの棚卸が可能な機器

### 2 事業費

31,813千円

担当：協働まちづくり部図書館

電話：0192-26-4478